12月定例会

12月定例会は、平成21年度各会計決算認定案3件、平成22年度各会計補正予算案8件、条例その他議案4件、人事議案14件の計29件の議案などの審議が行われました。

本会議では、議員12名から市政全般にわたり一般質問が行われました。

一般質問の概要は次のとおりです。

一般質問

3か年間の集大成を問う 近藤篤山顕彰事業

（自民クラブ）

問 平成20年度から実施してきた小松藩の儒学者近藤篤山先生の顕彰事業において、最終年度である平成22年11月7日にシンポジウムが開催されたが、今後、12歳教育を教育の柱に挙げている本市として、小・中学生に篤山先生の教えを伝えていくことや、顕彰事業の取組を継承して、地域振興や教育文化の発展にどのように取り組んでいくのか。

答 中江藤樹先生、尾藤二洲先生と並び伊予の三先哲と呼ばれる近藤篤山先生のシンポジウムでは市内外から730名あまりの来場者があり、四国中央市・大洲市との連携での開催は大きな成果を得ることができた。

学校教育においては、郷土の先人の優れた業績や歴史・文化に触れる機会を充実させ、豊かな心とたくましさを育てる教育を進めているところである。

近藤篤山シンポジウム

現在市内の小・中学校においては、平成21年度に発行した『伊予聖人　近藤篤山』の冊子を活用して、篤山先生の功績や三戒の教えの学習を行っており、今後も、教育活動の充実を図っていきたい。

3か年で実施した顕彰事業については、史談会・文化協会・つばき会などの関係団体との連携を図りながら取り組んできたところであるが、これらの組織を母体として、次年度以降の顕彰活動や組織設立に向けて検討している。

また、この顕彰事業は、本市の教育文化の発展や地域振興にもつながっていくと考えており、今後も顕彰事業を継続させて、市内外の広範囲に発展させるため、市民中心の活動に対して支援していきたい。

民間グルメイベント開催の評価と支援は？

（自民クラブ）

問 本市に市内外から多くの人を呼び込むため、本市の豊富な食材を武器に、グルメ企画を推進し、市内外に本市の魅力を発信して行くことなどを目的として、本年11月に社団法人西条青年会議所が「西条くいだおれフェスタ」を開催しているが、市は、この事業をどう評価しているのか。

また、この事業は、食を通じた「にぎわい」の創出や「まちおこし」、「西条産のPR」といった観点からも大きな効果が見込まれると考えるが、市として支援を行う考えはあるのか。

答 近年、グルメイベントは、全国的なブームとなり全国各地で行われ、まちおこしや地域のPRに一役買っている状況にある。このような中で開催された「西条くいだおれフェスタ」は、地元飲食店20店舗の参加のもと、たいへん好評であったと聞いている。

市民が「食」に関心を持ち、食から「元気なまち西条」を目指している本市にとって「地産地消」をキーワードに地元の食材を調理したものを市民が消費するというグルメイベントは、非常に意義のあるものであり、関係者に感謝をするものである。

このグルメイベントが今後も継続して行われ、全国に発信できる西条新グルメが開発され、多くの人が本市を訪れ、本市の知名度が上がっていくことを期待したい。

また、市としても、このような民間の発想によるグルメイベントが開催されることは非常に喜ばしいことであると考えており、人的な支援やイベント会場で市特産品の紹介を行うなど、可能な限り支援をしていきたい。

家族づれでにぎわうフェスタ